

令和2年度行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	紙オムツ受入による下水道施設への影響調査経費			担当部局庁	水管理・国土保全局下水道部	作成責任者			
事業開始年度	令和2年度	事業終了(予定)年度	令和4年度	担当課室	下水道企画課	課長 梶原 輝昭			
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	新下水道ビジョン加速戦略(平成29年8月)				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	新下水道ビジョン加速戦略(平成29年8月)では、少子高齢社会への対応として「下水道への紙オムツ受入可能性の検討」を位置付け、平成29年度に策定したロードマップに基づき検討を進めているところであり、地方公共団体が下水道への紙オムツ受入実現のための制度設計を行う上で必要となる事項の調査・分析を行うことを目的とする。								
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	下水道への紙オムツ受入実現に向けて、社会実験の実施及び紙オムツ分離装置が広く社会に導入される場合の社会的・経済的なメリット・デメリットを検証し、早期に地方公共団体が制度設計する上で必要となるデータの整理・検討を行う。								
実施方法	委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求		
		補正予算	0	0	0	23	29		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	0	0	23	29		
	執行額	0	0	0					
	執行率 (%)	-	-	-					
	当初予算+補正予算に 対する執行額の割合 (%)	-	-	-					
令和2・3年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由					
	水環境対策調査費	23	29	「新型コロナウイルス感染症への対応など緊要な経費の要望額」5					
	その他	0	0						
	計	23	29						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 4 年度	
	令和4年度中に下水道への紙オムツ受入のためのガイドラインを公表する。	ガイドラインの作成数	成果実績	件	-	-	-	-	-
			目標値	件	-	-	-	-	1
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	下水道への紙オムツ受入に向けた検討ロードマップ(平成30年3月 国土交通省水管理・国土保全局下水道部 公表)								
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度 活動見込	3年度 活動見込		
	社会実験の実施数	活動実績	件	-	-	-	-	-	
		当初見込み	件	-	-	-	1		
単位当たり コスト	算出根拠	単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込			
	実績額/社会実験の実施数	単位当たり コスト	百万円	-	-	-	23		
		計算式	百万円/件	-	-	-	23/1		

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	2 良好な生活環境、自然環境の形成、バリアフリー社会の実現							
	施策	8 良好な水環境・水辺空間の形成・水と緑のネットワークの形成、適正な汚水処理の確保、下水道資源の循環を推進する							
	測定指標	定量的指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
		実績値	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	既存の下水道ストックを活用することで介護・育児の負担軽減を図り、国民生活の利便性の向上及び地域の魅力アップにつなげる。								
	新経済・財政再生計画改革工程表 2019	取組事項	分野	-					
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)	単位	計画開始時 - 年度	元年度	2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
				成果実績	-	-	-	-	-
目標値				-	-	-	-	-	
達成度		%	-	-	-	-	-		
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)	単位	計画開始時 - 年度	元年度	2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	
達成度		%	-	-	-	-	-		
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係									
-									
事業所管部局による点検・改善									
国費投入の必要性	項目	評価	評価に関する説明						
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	下水道への紙オムツ受入に向けた検討は、人口減少・少子高齢化に伴う育児・介護の負担を大きく減少させることができるものである。						
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	下水道への紙オムツ受入はまだ実施されておらず、国において制度設計に必要なデータ整理・検討を行う必要がある。						
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	人口減少・少子高齢化対策のため、下水道への紙オムツ受入実現に向けた取り組みは、早急に進めるべき優先度の高い課題であり、装置が広く社会に導入される場合の社会的・経済的なメリット・デメリットの検証、制度設計する上で必要となるデータの整理・検討という手段は適切である。						
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-							
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	-							
	競争性のない随意契約となったものはないか。	-							
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-							
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-							
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-							
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-							
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-								
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-								
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-								
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-							
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-							
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-							
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-							
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-							
	所管府省名	事業番号	事業名						

点検・改善結果	点検結果	下水道における紙オムツ受入に向けた検討については、人口減少・少子高齢化対策に寄与する事業であり、平成29年度に策定した検討ロードマップに基づき、制度設計に必要なデータの整理・検討をR4年度までに実施し、ガイドラインとしてとりまとめることは、国として実施するべき取組である。
	改善の方向性	-

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

調査等にあたって、効率的・効果的な実施に努めるべき。また、業務発注にあたって、引き続き、競争性の確保に努めるべき。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

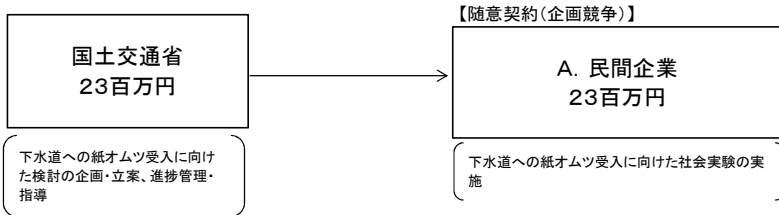
調査に当たっては、効率的・効果的な実施を図るため、行政事業レビュー推進チームの所見も踏まえつつ今後の検討をすすめる。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成26年度	-	平成27年度	-	平成28年度	-
平成30年度	-				
平成31年度	国土交通省 (新32 - 0011)				

※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	-	-	-	-	-	-
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	-	-	-	-		-	-	